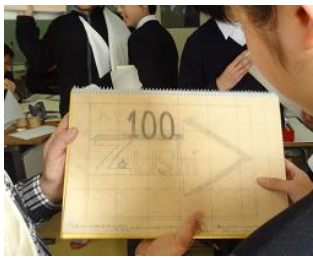





①事業実施報告書詳細

学校名 神奈川県逗子市立逗子中学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
① 11/28～ 12/8	美術室	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらい学習予定 ・看板の作品例鑑賞 ・横浜の看板写真を撮る場所を予測し、班内で分担を決める。 		
① 12/6	第2音楽室	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市まちづくり課の担当職員の方のお話 ・逗子市の自然と街の景観鑑賞、今後のまちづくりの課題と展望を知る。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な風景やまちづくりに興味を持って鑑賞した。 ・学習に具体性を感じて意欲が高まった。
⑥ (12/9)	横浜	<ul style="list-style-type: none"> 「横浜めぐり」看板撮影 ・横浜のみなとみらい地区～関内～中華街～山手地区を班別自主行動で見学しながら、その地域に似合った看板を撮影する。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に写真撮影を楽しんだ。 ・班員が協力して町をよく観察し、その町の特徴を表す看板を探せた。 ・逗子市との違いに驚く場面もみられた。例：中華街の交番の看板が中華風。山手のバスのストップが洋風でおしゃれ。など
② 12/12～ 1/16	美術室	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜のベスト看板写真を選ぶ。(鑑賞) ・横浜の地域ごとの特徴をまとめ、逗子と比較して逗子のまちの特徴を再確認する。 ・逗子のどの地域をテーマにするか選ぶ。(海、海への道、商店街、駅) 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜と言っても地域ごとにまちの雰囲気が違うことに気づき、逗子はどんな雰囲気にしたいか考えるきっかけになった。

① 1/17～ 1/23	美術室	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチを相互に見て構想を練る。 ・アイディアスケッチをもとに画用紙に下絵を描く 		1/23 B組授業は、まちづくり課の授業参観もあり、盛り上がった。
1/24～1/31		インフルエンザのため無し		
② 2/1～ 2/17	美術室	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチをもとに画用紙に下絵を描く。 ・配色計画で色彩の感情と配色の工夫を学習。 ・アイディアスケッチに色鉛筆で配色計画をたてる。 		インフルエンザによる欠席者が多く進捗にばらつきが出た。
④ 2/27～ 3/23	美術室	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチに色鉛筆で配色計画をたてる ・アクリル絵の具で背景や広い面積から彩色 ・文字や狭い面積の部分を面相筆で彩色 		
3/27～ 3/29	逗子市民交流センター1階	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示発表 70作品を出品 ・学校便りで保護者にお知らせした 		市民団体：ずしし環境会議から、良い取り組みと評価される。
④4/14～4/21	美術室	<ul style="list-style-type: none"> ・全クラスの作品を相互鑑賞 		生徒は市民に評価されたことを喜んだ。
6/5～ 6/11	逗子文化プラザ、市民交流センター2階	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回ずしし環境ウィークスに作品展示発表 代表18作品を出品 ・学校便りで保護者にお知らせした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方からこの展示を見て、学校の授業に逗子の環境教育に関わるものとして参加したいとの声が聴かれた。

美術授業 12+ 総合学習 6=18 時間 まちづくり課と打ち合わせ (11月, 12月, 3月, 5月, 6月)

授業で用いた制作カード (表)

班長

逗子に似合う看板づくり 1年組 番氏名 〇太 梓也 ②

目標 ・何が逗子の特徴(環境)に似合うか考えて独自のデザインをする。
 ・他者の視点に立って伝達目的に合った独自の看板を発案する。

展開 ・レタリングの基本を身に付ける。 ・美しい形や配色のデザインをする。
 ・デザインにあった配色の仕方を身に付ける。

鑑賞力 ・町の特徴に気づき、町の環境に合った看板の良さや美しさを味わう。

*授業の終わりに、自己評価を記入して提出しよう。(休んでおき、〇で表し、△と△し、×書いている)

月/日	①レタリングの基本を知る	②絵文字や看板を鑑賞する	③逗子のまちの特徴を知る	④横浜らしい看板を開発する	⑤逗子と横浜の時間を並べてみる	⑥看板のアイディアスケッチを組み合わせる	⑦アイディアスケッチを組み合わせる	⑧色や形に合ったデザインを考案する	⑨広い部分や角の部分を飾る	⑩完成した看板の発表と鑑賞	先生のアシスト
9/6											
9/7	○	○									○
9/8											○
9/9											○
9/10											○
9/11											○
9/12											○
9/13											○
9/14											○
9/15											○
9/16											○

(裏)

班長

逗子の特徴 横浜の特徴

自然	産業	建物	人	総合
山、海がある	漁業	西洋風な家	外国人が多い	
山、海がある	漁業	西洋風な家	外国人が多い	

テーマ 逗子(駅前や舟子に利用) 逗子海岸(海岸への遊歩内)
 なぎさ通り 港田通り 逗子銀座通り 逗子大前通り 新逗子通り

テーマ 逗子銀座通り

テーマについて表現したい雰囲気や伝えたい内容は、書き留めておく。

テーマを選んだ(決めた)理由 少しでもいいものを探したい。

アイディアスケッチ
 ① 逗子銀座通りのイメージ

山手 和物 陶内 赤い 中華街
 和物 和物 和物 和物 和物
 和物 和物 和物 和物 和物
 和物 和物 和物 和物 和物
 和物 和物 和物 和物 和物
 和物 和物 和物 和物 和物
 和物 和物 和物 和物 和物
 和物 和物 和物 和物 和物

作品例



伝えたい雰囲気
 逗子の穏やかだけど地味ではない感じ。
 逗子をどんな街にしていきたいか
 雰囲気は今までどおりで平和にしていきたい

伝えたい雰囲気
 海がきれいで気持ちがいい、波の感じも。
 逗子をどんな街にしていきたいか いつもキレイで暮らしやすい、人がみんな優しい所。



伝えたい雰囲気 落ち着いた雰囲気
 どんな街にしていきたいか 落ち着きのある静かな町

②学習指導案

単元名 (全時間)	逗子に似合う看板づくり (全 美術授業9時間) + (総合学習6時間)
学習のねらい	<p>意欲 1. 逗子に愛着を持ち、よりよい町にしたいと思うきっかけとする。</p> <p>発想 1. 逗子の特徴(環境)に似合うように、独自のデザインをする。 2. 他者の視点に立って伝達目的にあった独自の看板を発想する。</p> <p>技能 1. レタリングの基本を身に付ける。 2. 美しい形や配色のデザインをする。 3. デザインの意図にあった、彩色の仕方を身に付ける。</p> <p>鑑賞 1. 町の特徴に気づき町の環境にあった看板の良さや美しさを味わう。</p>
学習内容	<p>1. レタリングの基本を知る</p> <p>2. 絵文字や看板のデザインを鑑賞する。</p> <p>3. 横浜めぐりをとおして、横浜と逗子のまちの特徴(環境)の違いと、まちづくりの目標の違いを知る。</p> <p>4. 逗子の環境や町づくりの目標に合った、看板を発想しデザインする。</p> <p>5. デザインの意図に合った配色を工夫して、丁寧に彩色する。</p> <p>6. 相互にデザインのねらいを聞き、作品を鑑賞する。</p>
参考資料 準備品 実施場所等	<p>資料：市民団体「ずしし環境会議」から、スイスの街並みと看板の写真 市役所まちづくり課から、逗子市の景勝とまちづくりプロジェクト写真</p> <p>準備品：班ごとにデジカメ1台(6班×3組) プリンター用カラーインク 看板彩色用アクリル絵の具(混色した色)</p> <p>横浜めぐり：みなとみらい地区、関内、中華街、山手地区 完成作品展示：逗子市文化プラザ、市民交流センター</p>

学習の流れ(9時間)

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> 絵文字や看板を鑑賞する レタリングの基本を知る 名前一文字をレタリングする 	<ul style="list-style-type: none"> 資料「レタリング&ポスター」で日本とヨーロッパの家紋やロゴマークや看板を見せる。 レタリング字典とプリントでゴシック体と明朝体の違いを説明。 大きく書く、水平・垂直・円弧 	練習プリント
1	<ul style="list-style-type: none"> 逗子の環境と街の特徴を映像で確認し、逗子市のまちづくりがめざしている活動例を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 逗子市まちづくり課と市民団体の活動を知り、 	制作カードの記述 逗子の特徴欄
(6)	総合的な学習「横浜めぐり」で横浜らしい看板の写真を撮る	<ul style="list-style-type: none"> 横浜の地域によって雰囲気が違うので、地域ごとに撮影する。 	班ごとの写真内容

1	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜らしいベスト看板を選ぶ ・逗子と横浜の特徴をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの特徴を明確にし意識させ、それぞれの特徴に合った看板を選ぶようにアドバイスする。 	班会議中の発言 制作カードの記述
1	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子に似合う看板テーマを決める ・看板のアイデアスケッチを複数描く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活体験に沿った身近なテーマを選ばせる。 ・たくさん描き、途中で他者のも見てアイデアを広げさせる。 	制作カードのアイデアスケッチ欄
1	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチを選び、さらに構想を高める。 ・ねらいに合った配色計画をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の良い所を参考に、自分のアイデアをさらに独自のものに高め（洗練）させる。 ・色彩の性質を復習, 利用させる。 	制作カードのアイデアスケッチ欄
1	<ul style="list-style-type: none"> ・本番用紙にデザインを丁寧に描く 	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングを意識させる。 	作品
1	<ul style="list-style-type: none"> ・広い部分や背景を彩色する 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリル絵の具の性質復習 	作品
1	<ul style="list-style-type: none"> ・細部や文字を彩色する 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの彩色の仕方 	作品
1	<ul style="list-style-type: none"> ・完成作品の発表と鑑賞 ・自己評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の作品の良い特徴を学習のねらいに沿って具体的に書かせる 	自己評価・感想用紙

<留意点>

- ・逗子市まちづくり課と打ち合わせ（5～7月、11月、12月末、1月）
- ・1年総合的な学習「横浜めぐり」の班別行動中に地域の環境に合った看板の写真を撮影する。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・まちづくりの課題や、現在景観形成において取り組んでいる様子を生徒に分かりやすく伝える。そのためにまちづくり課の方の授業では、逗子の自然に関して特徴のある写真や、まちづくりに取り組む前と以後が比較できる写真資料を見せていただいた。・地域ごとのベスト看板を選ぶとき、その地域の特徴（環境）を複数の観点から比較して明確に意識させ、それぞれの環境に合った看板を選ぶように指導した。・逗子のまちの特徴（派手ではなく、落ち着いたおしゃれな雰囲気）を表現しやすい混色アクリル絵の具（ライト・ブライト・ライトグレイッシュトーンやエメラルドブルー）の用意。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・時数不足…総合的な学習の時間を使う予定だったが、学年で班コース作りや発表まとめの時間にあてたので、全て美術授業で行うことになった。週1時間か2週に1時間での長期間の制作で、制作意欲を保持するのが大変だった。
<p>(3) (児童) 生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・これからの地元逗子を想像することで、生徒自身が逗子への愛着を意識することができた。・作品の校外展示をすることで市民に鑑賞・評価され、学習したことがよりよい生活につながることを知ることができた。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>担当… 教科の目指す能力を育成しつつ、市民性教育や地域づくりにつながるものが授業として成立することがわかった。今後も教科を通して、環境教育や市民性教育、地元まちづくりにつながるような授業実践をしていくための授業題材を開発していきたい。</p> <p>担当外…次年度の総合的な学習「横浜めぐり」の実施要項や学習目標の検討材料になった。 検討内容＝学習のねらいに、市民性教育（横浜と比較することで逗子市の特徴に気づき、よりよいまちづくりに対する意欲を高める）に関連したものを加える。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ol style="list-style-type: none">①地域の看板を描く場合、どの地域またはテーマにするかは、あらかじめ教師側が指導目標に沿ったものを複数設定しておき、生徒の生活経験に合わせて選択させると、より深くテーマに迫ることができる。②1年での学習を発展させた学習を2年でも行いたい。例えば、2年では地元事業所で「職場体験」をさせていただくので、勤労体験をさせていただいた職場や商店街の環境にあう何か（看板やメニュー等）をデザインすることで、地元をよりよくする学習を続けていきたい。